

蕨 3 広報WARABI

2011/平成23年
わらび・714

- 平成23年3月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 2月1日現在人口：72,497人 前月比 -11人
男 36,980人 女 35,517人
世帯数：36,052
人口密度：14,215人/km²



気分はお内裏様とおひな様 楽しいひな祭りはもうすぐ

くるみ保育園の玄関ホールには、ほんもののひな人形といっしょに、園児112人のひな祭りをモチーフにした作品がきれいに飾りつけられています。3日の桃の節句を目前に控え、かわいらしい貼り絵や創作物で彩られた園内は、楽しいひな祭りの雰囲気です。

目次

- 市民が主役のまちづくり…2
- 投票所入場券の様式変更…4
- この数な～に…5
- 休日窓口の一部開設…6
- わが家のアイドル…7
- 子どもクラブ…7
- 輝いていまひと…8
- ぶらっと・わらび・小さな旅…8



今も歴史の面影を残す家が並んでいます

残したい 中山道の街並み

蕨で生まれ育った私にとって、中山道は、幼い頃から慣れ親しんでいる道です。まちの顔と言える歴史的な雰囲気や、子どもや孫たちの世代にも残して欲しいですね。ただ、沿道住民の皆さんは日常生活もありますし、維持をしていくのにさまざまな苦勞があると思います。意見や思い入れなどをしっかり取り入れて、まちづくりを進めて欲しいと思います。



やざわ たつひろ
矢澤 達宏さん
錦町1丁目

声

広げよう アウトメディア

小学生の娘が2人います。寒い季節はテレビやゲームなどが長時間になることもあり、視力の低下や生活リズムの変化などが心配です。ただ、夏休みや冬休みなどの課題として、テレビやゲームなどの時間を決めるアウトメディアの活動をしたときは、子どもたちの意識も高まり効果がありました。各家庭で心がけるとともに、このような活動を市全体に広げて欲しいですね。



やまだ ゆきこ
山田 祐貴子さん
錦町3丁目

声

市民が主役の まちづくり

あなたの声にお答えします

市民の皆さんのさまざまなご意見やご要望などは、住みよいまちづくりを進めていくのに、たいへん貴重なものです。ここ2、3年では、市民の皆さんの具体的な声に対する市の取り組みについてお伝えします。

街並みの保存に向け 助成制度の拡充実施



「昨年、助成制度を利用して、左側の建物と同時期の昭和初期に建築した門と塀を修繕しました。これからも地域住民の1人として、この中山道の歴史ある街並みをたいせつにしていきたいですね」と話す、北町2丁目在住の鈴木泰秀さん。

矢澤さん、ご意見ありがとうございます。私たちがまち蕨は、江戸時代から中山道の宿場町として栄え、現在も江戸後期から昭和初期の建物が点在し、面影を残しています。これまで市では、中山道の歴史ある文化遺産や街並みなどを継承していかうと地域住民の皆さんが運営している「中仙道蕨宿まちづくり協議会」の活動を積極的に支援してきました。協議会と話し合

いを重ね、中山道北町ポケッタパークや高札風掲示板などを設置したり、歩行者が楽しく安心して歩けるように道路を整備したりしてきました。また、平成7年には、「中仙道蕨宿まちなみ協定」の基準に合った建築物の新築や改築、修繕などに利用ができる助成制度を制定しました。建築物の屋根は黒系統の瓦屋根とし

ちづくりを進めていきます。市では、今後も協議会をはじめ、地域の皆さんとともに由緒ある中山道の街並みを次世代へと継承し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

地域一丸で保存活動

平成3年に発足した協議会は、これまで住民間で締結した「中仙道蕨宿まちなみ協定」を中心に、蕨の歴史文化軸にふさわしい環境づくりや維持、向上などに努めてきました。また、更なる街並みの保存のために、協定を改正したり、12件の歴史的・文化的資源の高い建築物を景観建築物に指定したりするといった積極的な活動を続けてきました。今後も、地域住民が一体となり、中山道の街並みの保存に努めていきたいです。



中仙道蕨宿まちづくり協議会
おかだ まさひさ
岡田 正臣会長

先月推進会議が発足 全市的な取り組みへ

テレビやゲーム、携帯電話などメディアとの関わり方は、子どもたちにとって重要な課題と言えます。長時間接すると、生活が不規則になったり、視力や脳の発達に影響を与えたりするほか、人と触れ合う機会の不足によるコミュニケーション能力の欠如、更に、使い方しただいでは、犯罪に巻き込まれるおそれもあります。このようななか市では、平成17年から一部の小学校で、メディアに触れる時間を減らしていくことを目的とした、アウトメディアの取り組みを行っています。内容は、毎月第3日曜日をアウトメディアの日と設定し、テレビやゲームなどの時間目標を決め、結果を学校に報告しています。また、平成20年からは、長期休業中に、全小・中学校で「アウトメディア大作戦」という活動

を実施しています。取り組みの結果、早寝早起きができるようになったり、家族といっしょに過ごす時間が増えてよかったですという子どもたちや保護者などからの声がありました。このような声を受け、市では更に活動を推進していかうと先月、「蕨市アウトメディア推進会議」(上野梢会長・16人)を発足しました。会議では、全小・中学校で統一した取り組みや、多くの市民の皆さんに広めていかうとアウトメディア宣言の制定などに向け、議論を重ねています。今後とも市民の皆さんと協力して、アウトメディアの活動を推進し、子どもたちが健康やかに成長できる環境づくりを進めていかうと思っています。



第1回推進会議の様子(2月14日)



アウトメディアで家族だんらんのひとときを

児童の感想



ほしの さくらさん
塚越小学校5年

4年生のときに始まったアウトメディアの活動日には、弟と声を掛け合って、テレビを見る時間をいつもの半分にしていきます。減らした時間は、おばあちゃんと話したり、弟と1歳の妹をあやしたりするので、家族といっしょに過ごす時間が増えてよかったです。これからは、活動日ではなくてもテレビの時間を減らすようにしていきたいです。



ドンガナ・チャンドラ・プラサドさん
ネパール 中央7丁目・34歳

このまことに暮らして

中央にあるカレーショップの料理長ドンガナさんはネパールの首都カトマンズ出身です。料理の修業でキプロスやバーレーンなど世界各地を渡り歩き、4年前に来日しました。宿場まつりや苗木市といった催しの模擬店で料理の腕をふるうなど、

ま・ち・の・話・題



日本の伝統行事を知ってもらおうと、2月3日、みどり保育園で「節分」が行われました。2歳児から5歳児クラスの園児78人は、この日のために手作りの鬼の面を用意。園庭で暴れる赤鬼に向かって、「鬼は外」と、勇敢に豆をまき、みごと鬼退治に成功。福を呼び寄せました。

元気いっぱい「鬼は外」



在住外国人と日本人の交流会「第3回みんなのひろば」が2月5日、中央公民館で開かれました。参加した8か国、80人の皆さんは、ゴルフゲームのほか、和楽器神社や三学院など日本文化に触れるまち歩きを通して、国や民族の違いを越えた交流を大いに楽しみました。

多文化共生図る交流会



親子で生の音楽に触れてもらおうと、2月8日、錦町児童館で、「バレエタインコンサート」が開かれました。市内在住の佐藤葉子さんのバイオリンと村上千秋さんのピアノが奏でる音色や、バイオリンの演奏体験を楽しんだ親子35組。音楽の魅力

親子で楽しむ音楽鑑賞



男性の育児や家事などの参加を促そうと募集した「イクメン・カジメンフオトコンテスト」の表彰式が2月19日、東公民館で行われました。計51点から4作品を表彰し、イクメン大賞は、はじける笑顔で自転車に乗る父子を撮影した南町在住の安藤洋子さんが輝きました。

大賞受賞にみんな笑顔



2月20日、中央小学校で、「第17回わらび郷土かるた大会」が開かれました。この大会で使用されたのは、蕨の歴史や文化を楽しく学べる「改訂版わらび郷土かるた」です。参加した市内小学校の103チームの児童は、真剣勝負のなかで、地域への愛着を深めていました。

かるたで深める郷土愛



この数な～に100万個

ペットボトルの蓋をリサイクルして途上国の子どもにワクチンを届けるエコキャップ運動を平成20年8月から行っている下蕨公民館で、2月15日、集めた蓋が100万個を超えました。2年半という「ハイペースでの到達」(集計元のエコキャップ推進協議会)には多くの人の協力はもちろん、中央7丁目自治会(佐野益三会長)の取り組みがありました。地域に呼びかける役員有志の下に徐々に各家庭から蓋が届くように。小さな積み重ねが、地域のきずなを深めながら大きな成果となりました。



集めた蓋を公民館に届ける地域の皆さん(写真右は佐野会長)



お知らせ

投票所入場券の様式が変わります

平成23年度は、選挙の年です。4月10日の埼玉県議会議員一般選挙を皮切りに、6月5日は、蕨市長・市議会議員選挙、そして夏には、埼玉県知事選挙と続きます。市では、事務の効率化を図るため、4月10日執行の埼玉県議会議員一般選挙から、投票所入場券の様式を変更します。



明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」

— 主な変更点 —



(従来)

はがきから封書大に



(4月10日執行の埼玉県議会議員一般選挙から)

これまで、個人ごとに、はがきで通知していた投票所入場券を、一括して世帯宛てに封書で配布します。はがきでは記載できなかった情報提供(期日前投票所の地図など)が可能になったほか、より早く、確実に有権者へ入場券が届くようになります。詳細=選挙管理委員会(☎433・7759)



くるる1階・旭町公民館(中央1-23-8)

●第7投票区の皆さんへ
旭町公民館が、蕨駅西口の公共施設「くるる」内に移転したのに伴い、4月10日の埼玉県議会議員一般選挙から、投票所が同施設1階の旭町公民館(左図参照)に変更となります。

旭町公民館の移転に伴う投票所の変更について

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

- 【譲ってください】
こののぼり 2枚以上の物中古でも可 取りに伺います
△都秋・☎44・1808
▼デジタルテレビ 使用できる物価格相談 取りに伺います
▲水野・☎42・0075
【見に来ませんか】
▼第二中学校吹奏楽部演奏会 27日(日) 午後1時半 市民会館(北条・☎43・2670)
▼(参加しませんか)
くるるダンスパーティー 日・17日・30日 午後1時 文化ホールくるる 499
円 成人(ASKKD研究会・犬塚・☎41・7373)
【仲間になりませんか】
▼竹紫館剣道教室 3月の毎週土曜日 午後6時 満5歳以上
▲松下・☎44・9772
▼県陽シユニア新体操クラブ 火曜日 ①小学1年~3年生 ②小学4年生 ③幼児 午後5時 西小学校体育館 午後3時 西小学校体育館 要問い合わせ ▲島山・☎070・555・2726
▼蕨警察署少年剣道教室 小学生 約10人 同署生活安全課三塚・☎44・0110
▼明日香吟詠クラブ(漢詩・和歌・新体詩・俳句) 月3回 火曜日 午前9時半 中央公民館 歓迎 ▲平山・☎43・2248



現在、市議会でご審議
 いただいている平成23年
 度予算案に、全ての小学
 校の普通教室、特別教室
 にクーラーを設置する予
 算を計上しました。昨年
 夏の猛暑を経て、子ども
 や保護者をはじめ、医療
 関係者、地域の皆さんか
 らも、学校へのクーラー
 設置を求める多くの声か
 寄せられていました。
 私は、市長就任以来、
 教育の充実に力を入れて
 いますが、特に、遅れて

ほっと・エッセイ

小学校へのクーラー設置

市長 頼高 英雄

いた学校校舎の耐震化を
 優先課題として取り組ん
 できました。その結果、
 23年度には、お約束どお
 り、校舎の耐震化が完了
 する見込みで、引き続き、
 学校体育館の耐震化に取
 り組む予定です。これら
 の事業には、多大な財政
 負担を伴うことから、そ
 の他の学校施設に関する
 ご要望には、なかなか応
 えられないことも多いの
 が現状です。
 しかし、地球温暖化が
 進むなかで、学校での暑
 さ対策は、いまや、子ども
 の命と健康、安全に関わ
 る問題でもあります。そ
 こで、厳しい財政状況の
 なかではありますが、全
 小学校へのクーラー設置
 を決断しました。その後、
 中学校についても、考え
 ていきたいと思えます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
 今月は10日。4月は7日です。
 時間は午後1時～5時を予定
 しています。
 ご希望のかたは秘書広報課
 (☎433・7701) へ



楽しみながら体力づくり

子どもクラブ 中央東小学校

中央東小学校の児童は今、「筋肉
 モリモリキャンペーン」に夢中
 す。体力向上を目的に、年間行っ
 ている取り組みで、人気の秘密はそ
 のユニークな種目。みんなが楽し
 ながら取り組めるようにと、5・6年
 生の体育委員17人が企画してい
 ます。今回は、「WAにWAにジャン
 プ」と題して、砂場に設置された輪
 に向かって立ち幅跳びを行い、飛
 距離に応じてレベル1から5まで
 の「マッチョジャンパー」に認定。
 「やった。レベル4」と、休み時間
 聞こえる歓喜の声。ここでは体力
 だけでなく笑顔も育まれています。

「お兄ちゃんの幼稚園
 のお迎えは、慶と私の日
 課の1つです。大好きな
 お兄ちゃんの姿を見つ
 けた瞬間、『きゃっきゃっ』
 と、声を上げて喜ぶん
 ですよ。その後3人でよく
 向かうのは、工事現場。
 子どもたちは、行き交う



わが家のアイドル

けい 慶ちゃん (1歳6か月)
 ひらかわ 平川 彰さん
 アキさんの
 二男
 南町3丁目 -468-

大きな車を、仲よくうれ
 しそうに眺めています。
 そんな好奇心旺盛な慶は
 とっても食いしん坊。お
 兄ちゃんの残した物まで、
 全部食べてしまいます。
 このまま元気いっぱい
 育ってほしいですね」と
 話す、母親のアキさん。



優しさの「環境行動」

プラスチックの付いてい
 る容器は、汚れを落とす
 て「その他のプラスチック
 類」として出していた
 だいていました。でも、な
 かには中身の汚れが取り
 き
 プラマークの付いてい
 る容器は、汚れを落とす
 て「その他のプラスチック
 類」として出していた
 だいていました。でも、な
 かには中身の汚れが取り
 き

れない容器も出されてい
 て、その場合、資源として
 リサイクルできず、蔵戸
 田衛生センター組合で仕
 分けをし、「もやすごみ」
 として処理をしています。
 これが要因の1つとな
 り、回収した「その他の
 プラスチック類」の内、リ
 サイクル可能なものは、
 平成17年度の81・1%か
 ら21年度は67・7%に減
 少し、仕分け作業にかか
 る費用が増加しています。
 負担軽減のため、プラ
 容器は汚れを確認し、取
 りきれない場合は「もや
 すごみ」で出しましょう。

26日(土)と4月2日(土)は

市役所窓口の一部が利用できます 開設時間=午前8時半～正午



引越しが多くなるこの時期、平日、市役所へお越
 しいただけないかたにもご利用いただけるよう、26日
 と4月2日の土曜日に、市役所の窓口を一部開設しま
 す。平日と同様の取り扱いができないものもあります
 ので、ご不明な点は、事前に担当課へご連絡ください。

開設窓口	取り扱い業務	特記事項
市民課(1階) ☎433・7751	(異動、証明書関係) ●転入・転出・転居などの各種異動届出の受付 ●住民票に関する証明書の交付 ●印鑑登録、証明書の交付 ●戸籍の届出の受領 ●戸籍に関する証明書の交付 ●外国人登録に関する交付 (国民年金関係) ●転入時の国民年金関係届(1号被保険者)の受付 ●転入・転居時の住所変更の届出(年金受給者)の受付 ●国民年金の資格取得・喪失手続き ●申請免除・学生納付特例申請などの受付	○住民基本台帳の閲覧、住所の付定、広域交付の住民票の交付、住基カードの申請・交付、電子証明書の申請はできません。 ○戸籍の届出については、届書の受領のみとなります。 ○年金事務所閉庁のため資格取得・喪失手続きは、年金手帳・資格喪失証明書などを持参した場合に限ります。また、納付状況の問い合わせもできません。
介護保険室(1階) ☎433・7835	●転入、転出などの異動に伴う介護保険の加入・脱退の手続き ●高齢者福祉サービスの申請受付	○要介護認定などの申請・相談業務はお取り扱いできません。
福祉総務課 障害者福祉係(1階) ☎433・7754	●転入、転出などの異動に伴う身体障害者手帳・療育手帳の変更・喪失手続き	○身体障害者手帳・療育手帳、在宅介護などの申請・相談業務はお取り扱いできません。
税務課(1階) ☎433・7749	●各種税証明の発行と閲覧 ●原動機付自転車の登録・廃車手続き	
医療保険課(2階) ☎433・7712	(国民健康保険担当) ●転入・転出・転居などの異動に伴う、課税内容の説明 ●国民健康保険の加入・脱退手続き ●被保険者証の再交付手続き (医療費給付係) ●国保高齢受給者証 資格取得・喪失・変更届の受付 ●国保葬祭費・療養費などの支給申請の受付 ●国保人間・脳ドック、PET検診補助申請の受付(長寿医療係) ●後期高齢者医療 資格取得・喪失・変更届の受付 ●後期高齢者医療 葬祭費・療養費などの支給申請の受付 ●後期高齢者医療 人間・脳ドック、PET検診補助申請の受付	○高齢受給者証、受療証、各認定証、保養施設の利用券の発行はできません。 ○後期高齢者医療被保険者証、受療証、各認定証、保養施設の利用券の発行はできません。
児童福祉課(2階) ☎433・7757	●転入、転出、転居、出生などの異動に伴う、こども医療費、子ども手当などの手続き	○保育園・留守家庭児童指導室関連の業務はお取り扱いできません。
納税推進室(2階) ☎433・7709 ☎433・7744	●通常業務を行います。 (市税・国民健康保険税の納税、納税相談、介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付など)	
学校教育課(1階) ☎433・7728	●転入、転出、転居に伴う転校、住所変更などの手続き ●転入、転出、転居に伴う区域外就学の手続き	○当日は、庁舎1階へ移動して業務を行います。

輝いていまひと

智内兄助門下の洋画家

なが い り え さん
永井理恵さん

歴

史民俗資料館の特
別展、「アフリカ

風の詩人の夢」では、アフリカに生きる人々を描いた60点の人物画が迎えてくれます。幻想的な雰囲気がかかる同展の作者、永井理恵さん（中央2丁目79歳）が描く洋画です。日本で最も権威のある美術展、院展の招待作家だった、姉の故・横山津恵さんの影響で「もの心ついたときには絵筆を握っていました」と話す、永井さんが画家の道を歩むのは自然の流れでした。アフリカの絵を描き始



想像広げアフリカの鼓動表現

めたのは約25年前。サハラ砂漠周辺を旅していた長女・裕子さんが撮影した1枚の写真がきっかけです。色鮮やかな衣装で自らを表現する姿、全身から感じる息吹に創作意欲をかきたてられました。こうして新たな題材で活動を始めた頃、運命的な出会いが。蔵在住の、日本を代表する洋画家、智内兄助さんの作品を目にするのです。圧倒的な存在感に衝撃を受けた永井さんは入門を志願。快く弟子入りを許されます。アトリエに籠もり夢中で創作したその頃の経験を「私の宝物」と語ります。永井さんの作品は、下地にサハラ砂漠の砂を塗ったり、やすりを貼ったりした上に色を重ね、独創的なアフリカの世界を表現するのが持ち味。でも、「現実が頭に残りそうで」と、現地を訪れたことはありません。写真から得る直感を基に想像を広げて描くのがこだわりです。一目見るだけで、永井さんがキャンパスに込めたアフリカの鼓動を感じてやまないことでしょう。

ぷらっと・わらび・小さな旅

西公民館の舞台が完成
西公民館には、これまで、ダンスや民謡などの練習の成果を発表できる舞台がなく、数年前から、錦町地区の3町会を中心に設置を望む声がありました。そんな要望を受け、市では昨年12月、150人収容の2階集会室に舞台を設置しました。大きさは幅7m、奥行き4mで、部



わらびの野鳥・虫・草

クリサンセマム・パルドサム

積もった雪がまだ残る2月中旬。錦町6丁目の茂みで、2、3センチの小さな花を咲かせていたのは、クリサンセマム・パルドサムです。北アフリカやヨーロッパが原産で、日本には園芸用として輸入

され、ノースポールの名で親しまれています。かれんなその印象に反して、丈夫で繁殖力が強く、道端や河原などに定着している姿をよく見かけます。これから満開を迎え、6月頃まで、花の白と黄色、葉の緑色のコントラストで、見る人の目を楽しませてくれるでしょう。

屋を少しでも広く使えるよう、折り畳みが可能です。また、演出効果も高めようと、客席との間に幕も付けられました。2月6日に開かれた、こけら落とし講演では、三遊亭歌之介さんによる落語をはじめ、西小学校音楽クラブの演奏も行われ、「後ろからでもよく見える」と、たいへん好評でした。皆さんも新しい舞台で、日頃の生涯学習の成果を披露してみませんか。



三遊亭歌之介さんによる舞台落成記念講演の様子